がんばろう
末崎！
津波なんかに
負けない！

館報まっさき

第３２５号
令和４年１月２０日
大船渡市立
末崎地区公民館
電話（F 兼）29-2955

年頭の挨拶

令和4年の年頭にあたり、謹んで新年の挨拶を申し上げます。昨年は、新型コロナウイルス感染予防にかなりエネルギーを奪われた1年でしたが、町民の皆様のご理解とご協力を得て何とか乗り切ることができました。おかげさまで収束しかけた10月以降は、いくつかの事業を実施することができました。あらためてご協力に感謝を申し上げます。

今年は東日本大震災から11年目となることから、皆様におかれましては、新たな目標を掲げ、新たな気持ちで第一歩を踏み出されたことと存じます。

ようやく新型コロナウイルス感染症が収束しかけたと思ったら、今度は極めて感染力の強いオミクロン株が猛威を振るって私共を恐怖に陥れております。このオミクロン株というのは潜伏期間が3日程と他の変異株より短く重症化リスクが低いと見られていますがデルタ株より感染力が強く、既存ワクチンの発症予防効果を低下させるといわれています。日本では、昨年12月18日時点で65人の人口の41.6%を占めています。

末崎町の令和3年12月31日現在の人口は3,887人で、65歳以上の高齢者は1,618人、65歳～74歳は314人、15歳～64歳は1,955人、また年代別に構成をみると0歳～14歳の人口は12月31日に比べ85人の減少です。

オミクロン株感染が確認されたのは1月16日には25,658人となりました。予防するには、こまめな手洗いや手の消毒、密を避ける、密閉・密集・密接のいずれかに徹底する対処法であるマスクの着用は、自覚症状のない感染者から他人へ感染することを防ぐためです。

訪問介護事業所・デイサービスセンターでは、利用者の安全を確保するため、職員の検温と暖房化が影響していると思われます。

末崎町の漁業は、大船渡市の水産業を支える基幹産業の一つとして、揚げ船の大型化が進み、揚げた量が大変不安定な状況です。

漁獲量は、昨年（昨年並み）、ウニの漁獲量は、ウニの漁獲量は、ウニの漁獲量は